



平成26年度

第3回 みみらんどセミナー

「サマースクール」

☆ 実施日時 ☆ 平成26年7月23日（水） 9:30～11:30

☆ テーマ及び講師 ☆ 第一部 手話の学習
講師：福島分校教員
第二部 ゲームをしよう
「風船しっぽ取りゲーム」



今年度の「サマースクール」には、福島分校の幼児児童及び卒業生とその兄弟、保護者、教育相談来校者の他、福島市立福島第四小学校を始め、地域の小学校、保健師さん、保育士さんなど、合わせて27名の参加がありました。

第一部の「手話の学習」は、幼児児童と保護者に分かれて行いました。幼児児童のグループでは、まず自分の名前や好きな食べ物、遊びなどの表現のしかたを福島分校の児童や教師が教えながら、互いに自己紹介をしました。その後、「さんぽ」の歌を手話で表しながら歌いました。歌詞には生き物がたくさん出てくるので、生き物の様子をよく表している手話の表現に興味をもって、楽しく活動していました。保護者のグループでは、今話題の「アナと雪の女王」の主題歌「Let it go」



を、歌詞の意味を考えながら手話で表現することに取り組みました。「ありのままに」など、手話の本を見ても載っていないような表現を、言葉の意味や歌詞の前後関係などから判断し、ぴったりの表現を見つけ出していく作業は大変ですが、言葉の意味を考えてより適切に伝えることの大切さを感じることができました。そして、最後の「終わりの会」でそれぞれのグループが手話ソングの発表を行いました。児童のかわいらしい発表にはもちろん大きな拍手が沸きましたが、保護者の気持ちのこもった熱演には、会場全体が

さらに大盛り上がりとなりました。

第二部は、幼児児童のふれあいとして、体育館で「風船しっぽ取りゲーム」を行いました。しっぽのようにひもでぶら下げた風船を互いに取り合うゲームですが、小学生も中学生も汗びっしょりになって、夢中で走り回りました。ゲーム終了後はかき氷で会食。汗ばんだ体に冷たいかき氷がおいしくて、笑顔がこぼれる時間となりました。



参加者からは、「手話の表現をみんなで考えるのが、とても勉強になった。」「保護者だけでなくいろいろな立場の人とお話できて良かった。」「みんなといろいろなゲームをやりたい。」といった感想が聞かれました。暑い中でしたが、楽しく有意義なひとときを過ごすことができました。